

---

# 大東亜戦争～沖縄沖海戦を忘れるな～

戦艦空母 大八洲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大東亜戦争〜沖縄沖海戦を忘れるな〜

### 【Nコード】

N3788Y

### 【作者名】

戦艦空母 大八洲

### 【あらすじ】

2011年11月10日TPP交渉2日前野田首相の失言で起こったクーデターで日本でクーデターを起こる。その後の世界を描く小説か？それとも・・・未来予想か？

感想お願い致します

序章 第一話 大反乱（前書き）

名前を一部解明もしくは架空人物を記入します

## 序章 第一話 大反乱

2013年日本初原子力空母「鳳翔」が就航それと同時に原子力潜水艦「長瀬」が就航この2隻は、隣国から内政干渉される対象であった。日本は今後10年以内に10隻の空母・4隻の原子力空母・20隻の潜水艦・4隻の原子力潜水艦・100隻の護衛艦・艦上ジェット戦闘機4000機を中心とする《八州計画》を計画する。その計画を中心に18式超戦車100両・100式戦車400両・輸送用ヘリ200機・火炮5000門・対戦車ヘリ100機の建造計画からなる《藤計画》と烈風真型ジェット戦闘機1000機・富嶽型超爆撃機200機の建造計画からなる《鷲計画》そして基地増設計画の《大菱計画》人数増強計画《志人徴兵計画》ネット防衛強化計画《N号計画》そして最後に《原号計画》《水号計画》である原号は原子番号の原水号は水爆の水である。

この全8計画を総合し《頂天計画》と名づける。なぜこのような計画を立て始めたかということ言う過去があったからだ・・・

2011年11月10日

民主党の党首で首相の野田活彦首相は

「TPPに参加は全部私が決める、あと自衛隊を来年までに11万人までに今後1年でする」

この一言を残した。

12日朝6時東京

この日首相官邸・国会・民主党、社会党、共産党本部・経済産業省・各県の庁舎に自民党と自衛隊が包囲占領をし始めた。

「谷垣禎一総裁!!!」

「なんです？折木良一統合幕僚長いや最高軍事議会幕僚議長」

このクーデターは3日前に自民党と自衛官が下から決めていたこと

だが昨日のこともあり早まった

「横須賀の港と呉の港から艦艇を出しましたし空挺団の準備を出しました」

「ありがとう、では各県の庁舎を占領せよ!!」

「はっ!!」

このようなことにより国会などの上記の部分をお領し自民党をのぞいて独裁政権を樹立した。

憲法

新大日本帝国憲法

内閣

内閣総理大臣

：谷垣聡太

国家軍事大臣

：折木真守

最高軍事議会幕僚議長：田母神敏夫  
である。

## 序章 第一話 大反乱（後書き）

書き忘れに気がつきましたが  
ジャパンニーズイージスの開発を《伊号計画》ロケット開発を《口  
型計画》ですすみませんでした

名前を相当変えましたm（| |）m

## 第二話 隣国と外交（前書き）

評価いただきありがとうございます。初心者ですが今後ともよろしくお願い致します

架空人物

私〃齋藤法英

元海上自衛隊海将現在防衛副大臣兼外務大臣

## 第二話 隣国と外交

谷垣総理と田母神防衛大臣と私でアメリカに来ている今日は日米同盟（日米安全保障条約）の改正に来たいわゆる私は、小村寿太郎的な存在立ち位置である。

「斎藤外相!!」

「ん？なんですか？」

「クリントン国務長官が読んでいらつしゃいます」

「え？会合は明日ですよ？なぜですか？」

「なんか打ち合わせとか言っていましたか？田母神さんも呼ばれます」

「そうか・・・分かったでは今から向かうどこに行けばいい？」

「言い私は田母神防相とともにクリントン国務長官のいる部屋に向かった」

「失礼する!!」

「オーミスター 田母神ミスター 斎藤ナイストゥーミトゥー」 今後

日本語にしますm( ) ( ) m

「はじめまして私は田・・・」

「知ってますのでとりあえずお座りください」

「あ、はい・・・」

「なんでしょう田母神防相が何か残念そうです」

「とりあえず今日読んだ理由は空母販売についてです」

「えっ？私たしはそんなのまだ望んでないですが？」

「国務長官は昨夜ゲリンツ氏と会いこれをオバタ氏に助言し許可された

「なぜ？空母販売はなぜですか？」

「私は中国に対して威嚇の意味を持ち原子力原動力から一般動力に変えた空母を販売したい」

「なるほど・・・まずはこちらの法を改訂させていただかせてくださいその後から考えます返答は後に」

「ならばこれを」 スツ

クリントンは日本向けに作った秘密に作ったステルス艦上戦闘機の設計図を渡した。

「これを作らせていただきます」

#### 次の日

会話略・・・

結果は日本の米軍基地を2019年までに撤退ただしそれまでに日本が海上・航空戦力をアメリカに近づけることを条件とした

「さあ国に帰り法の改正だ」

私はその後10日間暇をしていたそして

1月17日午前11:39

「武器輸出法と非核三原則の廃案が決定スパイ取締法・排中排朝法の成立」

この日最後の傷を削除し日本自衛隊を大日本帝国軍の結成が決まったこの日から陸軍の武器産業が活発化され空軍の戦闘機海軍の戦艦の建造が決定された。この計画を《天神計画》・・・

## 第二話 隣国と外交（後書き）

名前解明しました

### 第三話 隣国の威圧

法が改正された日の午後・・・ある二ヶ国が声明を発表の後抗議を開始した……

「我ら中国・韓国・北朝鮮は日本国の法改正に断固反対だなぜなら帝国主義の復活だからだ!!」

日本国民からすると帝国主義？攻めなきゃいいじゃんと思うでしょうだが中国はそんなこと知らん俺らがアジアのトップだと言いたいんだろっ

2012年2月14日

ついに新日米同盟の締結と空母の受け入れを日本は表明（空母は3月28日に到着）

またもこのような事件が起こる・・・中国軍艦日本領海侵犯発砲事件である。中国軍艦は宮古島付近に現れ宮古近海に砲撃をしたこれに対して日本帝国はアメリカとともに声明を発表「中国は日本領海に侵犯を行なったさらにそこで演習を行なったこれは許されることではない我が日本帝国とアメリカ合衆国は経済制裁をする」

と日本はアメリカとともに声明を出すその後・・・

「日本はもとは我ら韓国であるだから我らは中国の行為を許可する」と韓国は言い始めたさらに《朝鮮連合軍》を韓国が派遣し日本海側の都市に進駐させ始めたこれに対して私は

「これは韓国人が勝手に行った行為であり私たちにはこれを対処していく韓国とは国交の断絶を提言する」

これにより韓国との国交は分断されたのだがしかし韓国はそれ以後何も攻撃的なことをせず逆にすまないと言わんばかりの大統領が言い続けるが私は無視した

中国政府は「宮古では間違えてしまったてすまない」と声明をだすこれにより日本は対中国制裁を解除した（尖閣は日本領と中国に完全に認めさせた）

3月28日

ついに空母がやっと来た

来た空母に日本帝国は旧大日本帝国初の空母の名前《鳳翔》とした

第四話 鳳翔との出会い（前書き）

空母鳳翔（旧エンタープライズ）

搭載機数：87機

艦魂鳳翔

身長：159

髪型：短髪

## 第四話 鳳翔との出会い

### 東京湾湾上

この日は日本においてとっても素晴らしい日だと思つなげなら国際連盟常任理事国に任命されるのだから

「貴国を国際連盟常任国家会議において4対1により常任理事国に任命する」

これにより日本帝国は戦前の状態まで戻つた

「我コノ常任理事国任命ヲ受けサセテモラウ」

日本帝国は天皇閣下が任命を受けた

皆さんなぜ湾上でやつてるのかお分かりでしょうか？理由は日中もしくは米中の威嚇行動だ

ところ変わつて齋藤外相は防空指揮所にいた：そうもしかしたら元海自としてまた見たかつたのでしようだが今は予備役制度ではなく帝国軍に籍を置いても国家の政治に携われるようになったのだいわゆる私は海将（中将）のまま海軍を動かせるようになったのだ・・・

「はっー」

「コツコツコツコツ」

「ん？」

「コツコツスタツ」

「誰だ？何か私に用か？」

「齋藤海将兼外相にお会いにきました」

そこには、凜々しいが可愛くもありなでしこ魂と大和魂を兼ね備えてるようだった

「君は結果誰だ？」

「はい私は、この艦の艦魂鳳翔です」

そうすると彼女は敬礼をした

「んで？なぜ来たのかは聞いただがこのあとどうするんだ？」



画からなる《頂天計画》である。

11月2日

《頂天計画》は国会を通過したそして1月1日に発表することになったが開始は明日

メタンハイドレートと石油による国家収益は90兆9810億2918万1000円ほとんどはアメリカ・オーストラリアに輸出された。

11月4日ロシア・モスクワ

なぜロシアにいるのかは日露における北方領土問題と石油完全共同制作協定の締結のためである以下省略

11月6日ロシア・モスクワ

ロシアとの北方領土問題は日本側の意見を飲むそして協定ではなく同盟として発展した。そしてこの日モスクワには日米豪印加の7ヶ国外相が集まっていたそう新国際機関の建設とこの7ヶ国の同盟協定の締結であった

11月7日ロシア・モスクワ

まず7ヶ国との同盟はこう名をつけられた《新神聖同盟》であるこれによる戦争回避を目的とした同盟であるそして新国際機関の名は《東京国際連邦》である名の通り東京に本部を起きこの7ヶ国と仏英を加えた9ヶ国で常任理事国として任命された。

もちろん中国は一般国です。韓国・北朝鮮は参加しないと発表した

同日北海道

十勝山脈に鉄が発見されその結果ほとんどは日本で取れるようになったレアメタルは東南海・石油は北陸・鉄は北海道・ボーキサイトは九州・駿河湾津軽湾では石油とレアメタルこれにより資源超大国

にのし上がった日本はG B Pはとんでもなく上がり世界もこれにより不況から脱出したが・・・これを良しとしない国が二つあったその国は韓国中国だ

11月12日

日本帝国は各県に最低10ヶ所の駐屯地を作るため集団住宅推進計画を作った都市部に超高層ビルを建設するように国は決定した。そして奈良県ほどの大きさの海上基地を東シナ海に一つ日本海に一つ北海道の東に三つ作ることを計画した。

11月29日

頂天計画とは違いもう一つの計画を同時進行することにしたその名も《天治計画》である。

天治計画の内容

空母10隻原子力空母9隻護衛駆逐艦200隻潜水艦100隻艦載  
ジェット機10000機海軍兵増強50000人ほどの増加  
18式超戦車10000両100式戦車14000両火炮15000門  
陸軍増強100000人ほど増加

これが天治計画である

12月12日

国勢増加計画を発表した。

## 第五話 天治・頂天計画発動

2013年1月1日

この日は計画が発動されたそうあの大規模軍事計画天治・頂天計画である

新年であるためこの日はすごく盛り上がっていた 2年くらい飛びます

2015年2月24日

日本帝国の国勢は7億9319万人になったそのうち軍人は490万人国家警察200万になったなぜ爆発的に軍備・国勢が上がったのは前作で説明したので省略します(こんなんじゃ住めなくなるだろという人はいると思いますが高層ビルを立て更に埋め立てし高層ビルを立てたためこっだけ爆発的に増えました)

### 計画結果

#### 日本帝国軍

海軍：空母12隻原子力空母27隻原子力戦艦13隻原子力潜水艦4隻潜水艦200隻護衛駆逐艦247隻陣風型艦載ジェット機5000機水軍兵30万人

陸軍：18式超戦車1100両100式戦車1800両輸送用ヘリ200機対戦車ヘリ100機火炮20000門陸軍380万

空軍：烈風真型ジェット戦闘機2000機富嶽型超爆撃機300機F-29・3000機空軍18万人

宇宙軍：一般ロケット100基戦略弾道ミサイル2000基スペース

スシャトル霞・楓・輝夜・織姫・彦星 宇宙軍開発軍10万  
ネット軍：日本防衛システム時空・永遠・無限 ネット警備軍5万

### 日本自衛軍

海軍：海防護衛艦100隻護衛空母10隻護衛潜水艦20隻零式2  
6艦上ジェット戦闘機1000機海上自衛軍10万人

陸軍：対空ミサイル100基火炮1000門90式戦車5000隻  
陸上自衛軍20万人

空軍：零式29戦闘機2000機F-22・1000機F-20・  
100機F-15・200機航空自衛軍2万

宇宙軍：対艦ミサイル1000基対空ミサイル1000基大陸間弾  
道ミサイル100基 8万人

ネット軍：ネットウイルス対策システム鑑真・日蓮・法然・空海  
2万人

### 日本軍事警察

5万人

### 国家警察《JPP》

JPPR 陸部門：190万

JPPS 海部門：10万

### 艦隊編成

計1連合本艦隊6艦隊4潜水艦隊10護衛艦隊5海上警察艦隊

### 連合本艦隊

聖徳級原子力戦艦

聖徳 推古 神武 桓武 清和 藤原 中臣

山本級原子力空母

山本 徳川 松平 西郷 大久保 桂 東

郷

織田級原子力空母 織田 羽柴 柴田 佐久間 森 大友 毛  
利 黒田 竹中 木下 本多 井伊 酒井 榊原  
大隅級原子力イージス駆逐艦 133隻  
陣風型艦載ジェット戦闘機2520機  
母港 横須賀

第1東太平洋艦隊

秋津洲級原子力戦艦 秋津洲  
鳳翔級原子力空母 鳳翔  
雲竜級一般空母 雲龍 騎龍  
陣風型艦載ジェット戦闘機320機  
秋風級イージス駆逐艦 19隻  
母港 呉

第2日本海艦隊

秋津洲級原子力戦艦 大八洲  
鳳翔級原子力空母 瑞鶴  
雲竜級一般空母 雷龍 風龍  
陣風型艦載ジェット戦闘機320機  
秋風級イージス駆逐艦 19隻  
母港 舞鶴

第3東シナ海艦隊

秋津洲級原子力戦艦 瑞穂

鳳翔級原子力空母 翔鶴  
雲竜級一般空母 神竜 登龍  
陣風型艦載ジェット戦闘機320機  
秋風級イージス駆逐艦 19隻  
母港 佐世保

第4西太平洋艦隊  
秋津洲級原子力戦艦 大和  
鳳翔級原子力空母 大鳳  
雲竜級一般空母 暖龍 寒龍  
陣風型艦載ジェット戦闘機320機  
秋風級イージス駆逐艦 19隻  
母港 沖縄

第5南シナ艦隊  
秋津洲級原子力戦艦 武威  
鳳翔級原子力空母 鳳凰  
雲竜級一般空母 海龍 地龍  
陣風型艦載ジェット戦闘機320機  
秋風級イージス駆逐艦 19隻  
母港 ベトナム人民共和国 サイゴン

第6派遣独立艦隊

秋津洲級原子力戦艦 信濃

鳳翔級原子力空母 神鳳

雲竜級一般空母 鳳龍 鶴龍

陣風型艦載ジェット戦闘機 320機

秋風級イージス駆逐艦 19隻

母港 沖繩

第一太平洋潜水艦隊

長瀬型原子力潜水艦 長瀬

貫島型潜水艦 10隻

大山型潜水艦 15隻

屋島型潜水艦 25隻

母港 横須賀

第二太平洋潜水艦隊

長瀬型原子力潜水艦 富士

貫島型潜水艦 10隻

大山型潜水艦 15隻

屋島型潜水艦 25隻

母港 呉

第三両シナ潜水艦隊艦隊

長瀬型原子力潜水艦 大瀬

貫島型潜水艦 10隻

大山型潜水艦 15隻  
屋島型潜水艦 25隻  
母港 沖繩

第四日本海潜水艦隊

長瀬型原子力潜水艦 喜瀬

貫島型潜水艦 10隻

大山型潜水艦 15隻

屋島型潜水艦 25隻

母港 舞鶴

護衛艦隊 × 10

護衛艦 10隻

護衛空母 1隻

100機

警察艦隊

護衛艦 10隻

第六話 番外 飛んだ2年のこと1 (前書き)

略しました

## 第六話 番外 飛んだ2年のこと1

2013年1月

1日 日本帝国は大統領制を導入

8日 中国全土で反政府デモが発生 香港・南京で独立政府発足

16日 チベット・ウイグル・満洲が独立を表明これにより日米露  
独仏英を中心とした多国籍軍が治安維持のため派遣

20日 金正鑄総書記が暗殺されるこれにより金正雲が次期総書記  
候補にされる

21日 金正雲が韓国軍兵により銃殺されるこれにより北朝鮮を一  
部として東国連議会で決定される

22日 韓国が北朝鮮を武力占領を決定 午後のうちに南部を占領

24日 韓国軍北朝鮮全土を武力占領これにより韓国が北朝鮮を併  
合これにより大朝鮮共和国連邦を樹立

28日 大朝鮮軍が大連に上陸 同日山東に上陸

29日 大連山東両地域を占領次は中国全土占領を決定

30日 中国上海にて独立政府発足そして独立《上海中華国民共和  
国》の建国であった

2月

1日 中国南京にて《南京国民評議会連邦》を建国 中国香港にて  
《香港マカオ独立共同政府》が発足する 台湾にて《日台米共同防  
衛同盟》を締結

3日 《韓中連邦化条約》が締結される

6日 大朝鮮軍が北京に無血入城

7日 朝鮮は上海南京香港を属国を宣言 三ヶ国は否定

10日 朝鮮が上海を占領

13日 台湾と南京による条約《台南対朝条約》を締結

29日 満洲が完全独立 チベット ウイグルも同時完全独立

3月

2日 大朝鮮共和国連邦は南京を占領これにより《南京国際国家連合》を発足（これに参加表明した国は中東各国と北アフリカイスラム各国とバルカン各国） イスラエル・トルコ・モロッコ・ルーマニア・ブルガリア・ギリシャを除く

4日 日本帝国国家大統領谷垣大統領は大朝鮮共和国連邦とのにらみ合いを「これは《第二次冷戦》とし東京国際連邦と南京国際国家連合との戦いを《東南熱戦》だ！」と発表

5日 南京国際国家連合参加国家は共同声明を発表「私達こそ正義この世界の中心はこの国家連合だ。そちらは、悪これは第二次冷戦ではない《大世界大反乱》だ」と

## 第七話 番外 飛んだ2年のこと2

4月

1日 旧計画を訂正原子力空母を増産に転換

19日 南京国際国家連合がイスラエルに対して経済制裁・海上封鎖・航空封鎖・総輸送方面封鎖作戦を発表これを《春の雪作戦》とイスラエルは例える

23日 日独米口土の五ヶ国首脳はこの行為を批難する（別にイスラエルに自治区としてオーストラリア・満洲・アメリカを与えんと撤退を要求）

28日 南京国際国家連合とイスラエルの単独戦争に発展させるために国境に連合国家軍が合計302万人2000両の戦車で包囲する

以降10ヶ月にらみ合いそして撤退した

2014年

2月

10日 計画をほとんど完了した

17日 アメリカにて東西分裂西アメリカは自主優先主義を貫きを脱退南京国際国家連合に加盟 東アメリカは日本の傀儡国家化しあ

以後10ヶ月は平和です

第八話 第4帝国始動ドイツ帝政復活とEUの崩壊（前書き）

前作はほんとザツクリですみません

今現在累計PV 1,841アクセス ユニーク 545人

俺はわからないがこれって多いの？

## 第八話 第4帝国始動ドイツ帝政復活とEUの崩壊

2015年6月7日ドイツ連邦ベルリン3時40分

「はっはっはお前はすごいなあ。あのアドルフヒトラーに次ぐ独裁者になりそうな才覚だな」

「そのようなためにこの考えをとってもらっては困る俺はこの国家が平和であるようにしたいだけだ」

と二人の青年将校が会話する

「臨時ニュースです臨時ニュースです」

「ん？なんだ？」

「今日午後3時45分・・・現大統領が突然の爆発に巻き込まれ即死しました繰り返します・・・」

「なんだって！！」

スタスタ

「ん？」

「君たち一緒に来てもらいたい」

「へ？ん？なんでです？！」

「あなたいやアンドレ・ヒトウラー大佐にクーデター軍の指揮をしてもらいたい」

「は？へ？dsふぁfさ？なんでです私は大佐ですよ？！」

「はい青年将校のクーデターですから構いません特に優秀なアンドレさんに指揮をしてもらいたい」

「あ、ああ！？分かった！！」

これによりアンドレはこの軍の大將になった

ドイツ国营放送・国会議事堂・首相官邸・防衛省をこのクーデター軍が占領これにより占領を宣言するため国营テレビから放送する

「わが独軍青年将校クーデター軍はベルリン市内を占領包囲したそ

の他に各都市も占領したこれから我らは軍暫定政府こと《ドイツ第  
四帝国》を建国します」

この演説の後EUから脱退

国境を39日間封鎖した……

「さあこれからが本番だ……落ち行くEU国家落ちぶれる各国の  
波を避けるためには一般軍拡しかない……」

10日後日独大統領会談「第一次ポツダム宣言」

共同記者会見

「我ら日独国家は強力なパートナーとし神聖同盟を破棄し日独軍経  
共同防衛同盟を結成致す」

この会見は英仏和の国家を東側から撤退させることになるはこの  
時は思わなかつただろう

## 第九話 三つの日本

我が日本帝国はこの大戦力を手にしたがなぜ今まで無かった鉱脈や油田が出てきたのかそれは・・・もう一つの日本があるからだ。ドイツ第四帝国との同名成立後日本の科学者が佐渡に渡った・・・なぜ渡ったかと言うと異次元とのつながりがあるのではないかと思つてからである。

この探検隊の隊長は日本帝国東京大学真田繁教授だ、真田達が佐渡についたとたん雲が立ち込めたその数時間後ある洞窟についたそこには今の日本ではない光景が見えた

「これは・・・」

その穴に入ると見知らぬ世界がそこには佐久間繁延という社長がいたその後私は一人を元の世界に戻しこれを報告させた。

これによりこの穴は異次元ホールと言うことが分かった。

もしその先にあつた国が日本なら第一次世界大戦前頑張れば世界をひとつにまとめられるそれならいつそ一つに早くからまとめたいほうがいいそれを目指すなら我が国は応援にだつて軍を出す準備もできていた

## 第十話 佐久間の陰謀（前書き）

鈴木勝義

鈴木財閥CEOで日本帝国の会社は、89%が鈴木財閥の傘下企業である

鈴木財閥

現在では旧三菱ホールディングスや各有名会社と合併した会社である  
傘下企業

鈴木自動車・鈴木重工・鈴木保険・鈴木不動産・海洋警備隊会社・  
航空護衛隊会社・鈴木警備・鈴木造船・鈴木観光・北九州鉄道・マ  
レー運河設営会社・アジア横断鉄道

（札幌）鹿兒島・鹿兒島）沖繩）台湾・台湾）上海）香港・台湾）  
香港・香港）シンガポール・バンコク）ヤンゴン・シンガポール）  
オーストラリア）

## 第十話 佐久間の陰謀

真田教授の手紙によると、こちら側の日本と私のいる日本は、全く別物であるがつながりのないわけではない。どこかでつながっているのである、それと佐渡と十勝には資源がありその位置は、ほとんど同じなのだ。

それで真田教授が言う結論は、佐渡・十勝には異空間への道があるそしてそれのおかげで今の日本に石油や鉄が出るのである。そこで教授と佐久間社長によってこのような協定を作った

佐久間真田協定（NN物資支援兼技術協定草案）

- 1 大日本帝国は日本帝国に物資（農産物・絹）供給を今後30年行う
- 2 大日本帝国は大日本帝国に各技術を提供し日本帝国と同じレベルまで上げる
- 3 大日本帝国が敵対国に攻め込まれたとき日本帝国は援軍を出す
- 4 大日本帝国に大日本帝国が工業施設を10年間貸し出す
- 5 どちらかの日本が緊急自体に陥った場合難民などを受け入れ物資を供給し救出軍を出す
- 6 佐渡・十勝に共同基地及び巨大時空ゲートをつくる

このような協定草案を、この二人によって決められたがこれがそっくりそのまま使われた。

7月10日1897年日本）

日本帝国大統領 上南大輔 大日本帝国首相 伊藤博文

日本帝国外相兼防相 齋藤法英 大日本帝国陸軍大臣 桂太郎

大日本帝国海軍大臣 西郷従道 大日本帝国外相 西徳二郎

日本帝国産業界代表 鈴木勝義 大日本帝国産業界代表 佐久間

## 繁延

この面々がNN協定調印者だ。

この協定により日本帝国は食べ物には完全に困らないようになった。

だがしかしこれからあることが起こる・・・そういきなり輸送路として使っていた佐渡・十勝の时空ホールが消えてしまったこれにより大日本帝国は得をした。

第十話 佐久間の陰謀（後書き）

この設計図を渡したあとはついに第二次印パ紛争

## 第十一話 番外 兵器性能（海軍）

### 聖徳級原子力戦艦

主砲：30cm50口径三連装砲5基

副砲：127mm速射砲10基

その他兵装：CIWS高性能20mm機関砲20基

HOS-302 3連装短魚雷発射管

6基

ハープーン SSM4連装発射機4基

JAPANイージシステム

Mk41 mod2 VLS

基準排水量：62,000トン

速力：37ノット

全長：256.0m

横幅：38.9m

通常乗員：3000人

35

### 秋津洲級原子力戦艦

主砲：28cm50口径三連装砲4基

副砲：127mm速射砲8基

その他兵装：CIWS高性能20mm機関砲20基

HOS-302 3連装短魚雷発射管

6基

ハープーン SSM4連装発射機4基

JAPANイージシステム

Mk41 mod2 VLS

基準排水量：42,000トン

速力：37ノット

全長：206.0m

横幅：32.9m

通常乗員：2600人

山本級原子力空母

搭載機数：120機

基準排水量：163,000トン

通常乗員：3200人+航空団4200人

速力：41ノット

兵装：CIWS高性能20mm機関砲10

基

HOS-302 3連装短魚雷発射管

6基

ハープーン SSM4連装発射機10基

JAPANイージスシステム

Mk 41 mod 2 VLS 3基

127mm速射砲5基

電子カタパルト

全長：537m

幅：50m

織田級原子力空母

搭載機数：100機+ヘリコプター30機

基準排水量：153,000トン

通常乗員：3200人+航空団4200人

速力：41ノット

兵装：CIWS高性能20mm機関砲8基

HOS-302 3連装短魚雷発射管

5基

ハープーン SSM4連装発射機7基

JAPANイージスシステム

Mk 41 mod 2 VLS 1基

127mm速射砲5基

電子カタパルト

全長：507m

幅：43m

### 鳳翔級原子力空母

搭載機数：80機＋ヘリコプター15機

基準排水量：103,000トン

通常乗員：2200人＋航空団2200人

速力：41ノット

兵装：CIWS高性能20mm機関砲8基

HOS-302 3連装短魚雷発射管

### 5基

ハイプーン SSM4連装発射機7基

JAPANイージスシステム

Mk 41 mod 2 VLS 1基

127mm速射砲3基

電子カタパルト

全長：367m

幅：41m

雲龍型艦を原子力空母にしたただけなので兵装は変わりません

### 雲竜級一般空母

搭載機数：80機＋ヘリコプター15機

基準排水量：103,000トン

通常乗員：2200人＋航空団2200人

速力：41ノット

兵装：CIWS高性能20mm機関砲8基

HOS-302 3連装短魚雷発射管

### 5基

ハイプーン SSM4連装発射機7基

JAPANイージスシステム

Mk 41 mod 2 VLS 1基

127mm速射砲3基

電子カタパルト

全長：367m

幅：41m

大隅級原子力イージス駆逐艦 搭載機：ヘリコプター4機

基準排水量：20300トン

速力：45ノット

主砲：127mm速射砲4基

兵装：CIWS高性能20mm機

関砲4基

HOS-302 3連装短

魚雷発射管5基

ハーブーン SSM4連装

発射機7基

JAPANイージスシステム

Mk 41 mod 2

VLS 2基

全長：200m

幅：24m

通常乗員：400人

秋風級イージス駆逐艦

搭載機：ヘリコプター3機

基準排水量：16300トン

速力：45ノット

主砲：127mm速射砲4基

兵装：CIWS高性能20mm機

関砲4基

HOS-302 3連装短

魚雷発射管5基

ハーブーン SSM4連装

発射機 7基

JAPANイージシステム  
Mk 41 mod 2

VLS 2基

全長：180m

幅：21m

通常乗員：300人

長瀬型原子力潜水艦

搭載機：ヘリコプター1機

基準排水量：10000トン

速力：33ノット

兵装：533mm水圧式魚雷発射

管 6基

トマホーク SLCM用V

LS 24基

乗員：300人

貫島型潜水艦

基準排水量：6200トン

速力：23ノット

兵装：533mm水圧式魚雷発射

管 4基

トマホーク SLCM用V

LS 10基

乗員：130人

大山型潜水艦

基準排水量：5900トン

速力：23ノット

兵装：533mm水圧式魚雷発射

管 4基

トマホーク SLCM用V

LS 2基

乗員：100人

屋島型潜水艦

基準排水量：5900トン

速力：27ノット

管 4基

兵装：533mm水圧式魚雷発射

トマホーク SLCM用V

LS 2基

乗員：120人

哨戒ヘリコプター（SH-90）

乗員：3-4名

全長：30.75m

兵装：20mmバルカン砲

19式魚雷

## 第十二話 菊花島

2015年7月12日和歌山県南方50km洋上

「ん？なんだあれ？」

哨戒活動をしていた警察艦『ひりゅう』艦上からなぜか陸地が見えた。

「な、なんで？陸地があるんだ？」

「さあ？」

「とりあえず援軍を要請しよう」

艦長と副艦長が話し合った。

5時間後

1000トン級哨戒艦10隻と4000トン級警察輸送艦20隻、機動警察隊3万人が集結。これから上陸作業に入る。

「ん？なんだあれ？」

「滑走路じゃないか？」

「ああそうか」

このような会話をつづけていると港に出た。

「なんだこの港？」

「あの皆さんドックもあります。」

「ほんとだ・・・」

するとドックの近くからある男が出てきた

「お前ら誰だ！！」

「お前こそ誰だ！！」

「俺はこの島の長だ」

と名乗った

「名前は？」

「名前はエラクダ・オートムだ」

と名乗った、その男が解説するにはこの島は、変わった設備を持っているらしい。

島名：菊花島

この島は、淡路島4個分の面積を持つ。島には1時間で車両500両作れる無人工場が10棟、大型航空機が15分で一機作れる工場が4棟、ジェット機などその他飛行兵器を3分で九機作れる工場が4棟、淡路島の三分の二ほどの滑走路が一つ、3時間に船を4隻作れるドックが10棟がこの島には建造されている。そのほかに16方位に一つ砲台が設置してあり淡路島一個分使っていない土地があるため住むことも可能である。

「この島の説明は以上だ。」

「はぁ……」

「何か不満でも？」

「いや……その説明がすごく非科学的で……」

「そんなことない、では見せてやる。」

と言われ我ら機動警察隊の幹部は森深くに向かった……すると前に巨大な工場があるではないか

「ここが3分で9機のジェット機が作れる工場か？」

「はい、そうですか？」

「では見せてみよ」

「わかりました、ですがこれがほんとに3分なのか確かめるため力ツプヌードルをごちそうします。」

「はぁ？」

「では見てくださいね」

ということでは私たちはカップヌードルをまちながらちよこつと雑談をしてた

（3分後）

「はいできましたよ……」

「そ、それは……」

「そうです今貴国がもっているジェット機全てです」

そうこの工場はほんとに素晴らしい。右から陣風型艦載ジェット戦闘機・烈風真型ジェット戦闘機・F-29・零式26艦上ジェット戦闘機・零式29戦闘機・F-22・F-20・F-15そしてF-35とユーロファイター

「す、すごい」

「でしょー!」

「と、とりあえずお前を拘束し、大統領と天皇陛下に謁見させる」  
「ああ了解した」

ということでの男を拘束した、するとある男らが我らの前に出てきたその男たちは旧日本海軍、陸軍の制服を着用している。

(どこかで見たような・・・)

栗林「ここはどこかね君たち」

「あ、え、ここは・・・2015年ですか？」

栗林「え？ここは1939年ではないのか？」

「で、ではあなたは？・・・」

栗林「私は、栗林忠道だが？」

山本「そして私は山本五十六だ」

山口「山口多聞だ」

小澤「小澤治三郎だ」

牛島「牛島満だ」

「えー!」

ということでの第二次世界大戦の名将がこの日本にやってきた。

### 第一三話 旧将達の練訓

山本五十六海軍大将を中心とする臨時旧日本軍団なずけて『桐生軍団』20万人は、今現在の日本帝国軍の下、緊急練習を開始した。栗林中将率いる陸軍17万は、現代日本を中心とする戦法を習いその練習をした。小澤中将率いる海軍海兵2万3千人と航空兵7千人は旧型護衛艦「こんごう」「きりしま」「みようこう」「ちようかい」「おおしま」「あきつき」「たねしま」「かぜしま」「みうら」「おおつ」計海兵3千人練習戦艦「かいうん」計海兵3千人練習空母「うんりゅう」「きりゅう」「さりゅう」「けいうん」「ちようん」計海兵1万5千人航空兵4千人練習潜水艦「せいかい」「どんでん」「かいせい」「うりゅう」「あさしお」「やみしお」計海兵9百人練習武相輸送艦「おおくら」「たなくら」「いくら」「こくら」「なくら」「まくら」1万2千名、その他は幹部参謀候補生として教育した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3788y/>

---

大東亜戦争～沖縄沖海戦を忘れるな～

2011年12月19日02時46分発行